

音訳を通して、心の交流を広めよう！

■ 活動する地域

愛媛県松前町

■ 団体名

音訳ボランティア もみの木

■ 基礎データ

継続年数	10年間
活動分野	情報保障
主な対象	視覚障害
主な連携先	松前町 等
団体の規模等	7名

活動の概要

視覚障害者や高齢者への情報提供のために、月に1回集まり、町内の各種情報誌（広報、社協だより等）や書籍等の音訳を行っています。音訳テープを届ける際は、些細な会話から、意見や希望を聞き取るようにしており、当事者とボランティアの交流と相互理解の機会となっています。

■ 活動の内容

視覚障害者や目の見えにくい高齢者などへの情報を提供するため、月に1回集まり町内の各種情報誌（広報まさき、社協だより等）を音訳化しテープに吹き込んでいます。活動開始1年間は、録音の操作に慣れず、試行錯誤の毎日でした。最初は、音訳テープができあがるのに1週間以上かかっていましたが、みんなで意見を出し合い、協力した結果、録音量が増えたにもかかわらず、3日以内には届けられるようになりました。録音前には、読み合わせを実施し、読む速さや修正箇所を確認し、より分かりやすく正確に情報を伝えることを心掛けています。テープを届けると、「毎日楽しみにしています。」「松前町の出来事や催しが良く分かってくれたい。」「何度も繰り返して聞いています。」という声が聞かれます。暑い日も寒い日も年中枯れない芯の強い「もみの木」のように活動を継続し、これからも多くの人に声を届けていきたいです。テープを心待ちにしている利用者さんの笑顔が叶えられるように。



写真1 テープを渡している様子

■ 活動の経緯・体制

当時、町内に視覚障害者を支援する活動がない中、「視覚障害者の方を支援したい」との思いから、他市町の活動を学び勉強を重ね、2011年3月1日に発足しました。6名体制でボランティア団体を発足し、定期的に社協だよりにてメンバーの募集を行い、現在7名で活動しています。

■ 活動の効果・普及状況

町内情報の音訳化によって、視覚障害者及び高齢者が生活に必要な情報を得ることができ、豊かな生活を送ることにつながっています。また、音訳テープの希望者を定期的に募集するとともに、テープをお届けする際等、意見や希望も取り入れるように実施し、視覚障害者の楽しみの一つとしても定着しています。

■ その他（団体紹介や参考情報等）



写真2 録音の様子